

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	令和元年5月8日(水)午後7時30分～午後9時00分
会場	留場公民館
地域座談会の内容(意見交換等の内容等)	
<p>①市債残高が平成29年度より平成30年度が4億円程多くなっているこれから少子高齢化の時代を考えると市債残高が少ないほうがよいのではないかと。</p> <p>→平成30年は見込みであり、5月末に決算されるので数字が変わる、また、補助金等が入るので実際に市の負担は下がることになる。実質公債費比率が毎年下がっているため、財政が健全化に向かっている。</p> <p>令和からも、事業を進めながら市債も減らす努力を行っていきます。</p>	
<p>②葉山の登山者の状況・登山道の整備が行われていない話を聞いているのでどのような状況か。登山道等の整備が行われれば、学びの里 TASSHO も利用者多くなるのでは。</p> <p>→葉山登山者は増えている。登山者用地図を作り直し配っている。登山道の整備は、葉山開発協議会(寒河江市・村山市・大石田)で少しずつ整備を行っているが抜本的な整備までいたっていない。地元の要望を聞きながら整備する必要がある。学びの里 TASSHO も年9,000人利用がある。今年から平日軽食サービスも行う体制を整えたため利用者が増えると思っている。</p>	
<p>③市報に四季折々のカットを入れてはどうか。</p> <p>→さくらんぼ特派員に協力いただくことなども検討していきます。</p>	
<p>④昨年引っ越しをしてきた、市の中心地は南側であるが北側の方と便利性的格差がある。北側で進めている事業(銀行・店・役所)はあるか。生活する上で不便さを感じている。</p> <p>→公共的な機関が少なくなっているので、そういう不便さをどう解消するか検討していかなければならない。高齢者の生活の足をどう確保するかということが大きな課題でもある。要望があれば商業店舗に替わる移動販売車での対応もできると思います。究極的には行政機関が施設を整備し、小売店等に入学していただいて商売をしてもらうなどということも将来検討をする必要も出</p>	

るかもしれない。

- ⑤県道田代白岩線の両向いが山であり、両山に春は桜、秋はもみじというような整備し観光ルートとして整備活用できれば学びの里 TASSHO に観光客を呼ぶことができるのでは。

→寒河江川の桜回路から慈恩寺そして種まき桜、さらに田代方面までを考えていけば、いろいろな発展の可能性を秘めているとおもいます。具体的な要望があればお聞かせ願いたい。地域で事業を行うのであれば補助制度を活用していただければと思います。

- ⑥長岡山桜の丘利用者の駐車場が少なく不便である。郷土資料館付近に駐車場を設けられないか。

→郷土資料館北側奥に木を植えてエリアを拡大するの整備計画であり、上に駐車していただき歩いて見に来ていただきこととしている。郷土資料館付近に駐車場を整備することも検討して行きたいと思います。

- ⑦デマンド型（タクシー）の指定時間（予約時間）が決められており、指定時間を30分程度早められないか。

→医療機関等の診療時間にあわせている。タクシー会社との契約であり、限りある台数を回しているため難しいと思います。指定時間を変更することは可能であるが、個人的な時間の変更は難しいと思います。具体的に指定時間を変更してもらいたいということであれば検討できる。

- ⑧免許返納により、移動手段はタクシーしかなくなるので、安価で時間の融通していただきたい。

→免許返納に対してタクシー券・デマンド券を配布しているが、生活の足の確保を図るため、デマンドの充実や整備、タクシー券についても持続的に支援できるよう検討できないかと考えている。

- ⑨デマンド型タクシーの料金設定が違うので、平等にできないか。

→幸生、田代、留場は500円でその他は300円となっている。路線バスの事業者も変わって条件が変わっていることから楯町会のデマンドのエリア化と併せ料金について地域公共交通会議に諮り検討していきます。

- ⑩市内循環バス北部・南部ルートがあるが、留場地区に月1回ぐらい回ることができないのか。

→循環バスの要望があれば検討するが、月1回程度では利便性が上がらないと考える。

⑪市報月2回の配布を市がまとめて各世帯に配布できないか。他県では行っているところもある。

→自治組織が発達・連携が取れていないところでは、宅配等もあるかもしれない。配送費用大きくなり、全戸に配布というのはなかなか厳しく、町内会にお願いしたいのでご理解をお願いします。

⑫白岩老人福祉センター営業時間が午後4時で終了するが、島市民浴場に近い営業時間にできないか。入場者数が少ないため。

→建物が古くなっており、リニューアルの時期とっております。施設の在り方も含め、今年1年間をかけ地域の意見を聞きながら、検討していきます。

⑬寒河江市を通過して、山形・天童・東根に勤めている方が多いが、市の雇用対策について

→市の工業団地に企業誘致し、雇用の場を設けることで人口が増えている。現在も新規企業が立地され、工業団地の立地率は92.6%となっている。しかしながら運輸業者が多いため立地率に見合った雇用が進んでいない状況であります。雇用の増加に向けて市としても今後も努力をしていきます。

残地が残り10%となっているのでエリアの拡大なども検討していきたい。